

## 【加悦地域】令和5年度の取り組み方（予定）

### ● 協議会の構成と役割

#### 【構成】

地域の方7人、加悦小・中学校の校長と教頭4人の11人で構成予定です。

※ 地域の方の中には、保護者（PTA）と学校評議員の代表4人も含まれています

#### 【役割】

学校の基本方針を承認して、学校運営について協議。子どもたちの豊かな成長のために、学校と一体となってどのようなことができるのかを協議し、具体的な支援や取り組みを行います。



加悦中学校スクールサポート協議会の会議の様子

### ● 協議会の予定

年3回程度の協議会を開催。熟議ある協議体として始動しながら、地域の協働活動が学校教育に効果的に機能するように進めます。

#### 第1回運営協議会（年度当初）

- ・ 学校運営の基本方針等の承認
- ・ 児童生徒の状況、職員体制の把握
- ・ 学校からの支援希望とその実現への協議

#### 第2回運営協議会（年度期間中）

- ・ 第2回までの学校の教育状況の理解
- ・ 児童生徒および地域の状況についての交流
- ・ 学校運営への必要な支援の協議

#### 第3回運営協議会（年度末）

- ・ 学校運営の評価
- ・ 当該年度の運営総括

年間の動き ↓

## 【岩滝地域・野田川地域】これからの計画と取り組み方

令和5年度に教職員・保護者・学校評議員・地域に対しコミュニティ・スクール導入の説明を行い、6年度には各校に協議会を設置して運用を開始する予定です。

### ▶ 岩滝地域 ◀

岩滝小学校と橋立中学校に協議会を設置しますが、橋立中学校は宮津市との組合立の学校のため、宮津市との調整を行いながら進めていきます。

### ▶ 野田川地域 ◀

三河内小学校、市場小学校、石川小学校、山田小学校、江陽中学校の各校に協議会を設置します。

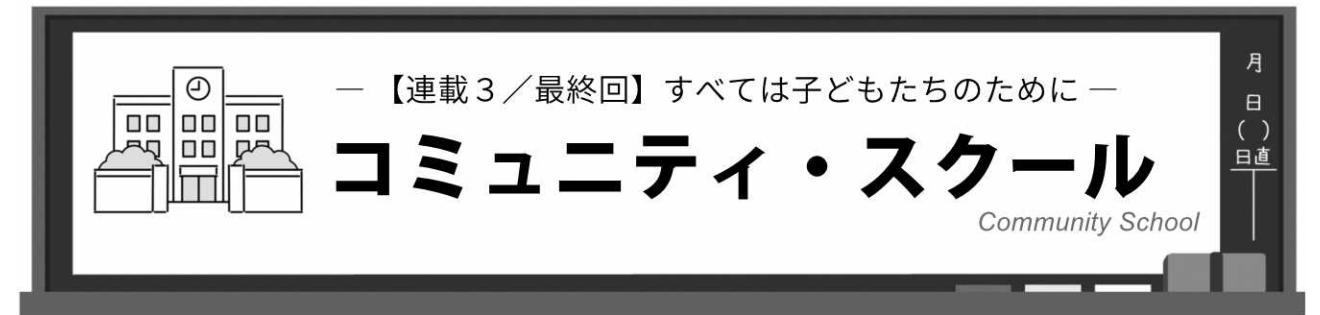
## 地域と学校の連携でより良い子どもたちに

与謝野町では、これまでから多くの地域の皆さまに主体的に学校教育に携わっていただくなど、地域と学校との協働・連携を進めてきました。地域の支援によって学校教育を進めていける仕組みとして整えられた制度が「コミュニティ・スクール」です。

これからも、子どもたちが健やかに成長できるように地域で温かく見守っていただきますようお願いいたします。



加悦中学校スクールサポート協議会の協力を得て花を植える生徒たち



子どもの  
学びが充実

《加悦小・中学校》  
コミュニティ・スクールの  
運用を開始予定です

学校と地域の連携と協働による、より良い子どもたちを育成する取り組み「コミュニティ・スクール（学校運営協議会のある学校）」。1月号から連載してきましたが、最終回となる今月号では、令和5年度の取り組みとこれからの計画についてお知らせします。  
 社会教育課 ☎43・9026

## コミュニティ・スクール（CS）のメリットと魅力

### 1 目標・ビジョンを共有し「協働活動」を行う

熟議の場である学校運営協議会（以下、「協議会」）では、子どもたちはどんな課題を抱えているのか、学校・地域でどのような子どもを育てていくのかという「目標・ビジョン」を学校と地域で共有。そして、地域でどのような支援ができるのかを検討し、協働活動へつなげます。

### 2 当事者意識・役割分担で社会総がかりでの教育の実現を目指す

協議会の委員は、協議した内容を共有し関係者が当事者意識をもって、役割分担による連携・協働の取り組みを進めます。

### 3 組織的・継続的な体制

教職員の異動があっても、協議会があることによって学校と地域との組織的な連携・協働体制がそのまま継続できる持続可能な仕組みです。

※ このページに掲載している写真は、加悦小・中学校から提供いただいたものを含んでいます